

第20回 長野市埋蔵文化財センター発掘調査速報展

遺跡が語る 長野の歴史

私たちが暮らしている地面の下には、竪穴住居跡や土器・石器などが眠っている遺跡が、長野市内で1107ヶ所もあります。しかし、現代の暮らしに必要な開発工事のなかには、これらの遺跡を現状のまま保護することができないケースもあり、やむをえず発掘調査を実施して記録として保存することになります。

長野市埋蔵文化財センターでは、平成30年度に市内6遺跡で発掘調査を行いました。この速報展では、これら消えゆく運命にある遺跡たちの最後の姿をご覧いただきたいと思います。また史跡整備事業として実施している松代城跡や大室古墳群の発掘成果もご紹介いたします。この機会に貴重な郷土の歴史を感じていただければ幸いです。



平成30年度の調査遺跡

平成30年度の発掘調査一覧

遺跡名	所在地	起因事業	調査面積	調査期間
御所遺跡 —街路地点—	中御所二丁目	区画整理事業	113㎡	H30.4.9～4.17
御所遺跡 —公園地点—	中御所二丁目	区画整理事業	977㎡	H30.9.13～12.25
上ヶ屋遺跡	上ヶ屋	歩道整備事業	113㎡	H30.5.14～7.12
西方遺跡	高田西方	共同住宅新築工事	202㎡	H30.5.7～5.23
中堰遺跡	小島岡田	分譲地造成事業	101㎡	H30.12.4～12.28
後町遺跡	鶴賀問御所町	沿道整備街路事業	616㎡	H30.11.26～調査中
清水原古墳群	若穂綿内	農地整備事業	110㎡	H30.11.26～H31.1.25
松代城跡	松代町松代	史跡整備事業	400㎡	H30.10.12～12.10
大室古墳群	松代町大室	史跡整備事業	50㎡(予定)	H31年3月(予定)

	<ul style="list-style-type: none"> 大陸から大型動物が渡ってくる 局部磨製石斧が盛んに使われる 気候が寒冷化、海水面低下 細石器が普及する 	<ul style="list-style-type: none"> 人類の痕跡が確認できる 	上ヶ屋遺跡（芋井）
	<ul style="list-style-type: none"> 土器の使用が開始 石鍬が普及する 		
	<ul style="list-style-type: none"> 気候が温暖化、海水面上昇 集落の定住性が強まる 各地で大規模な集落ができる 北部九州に水田稲作が伝わる 		
	<ul style="list-style-type: none"> 鉄器や青銅器の使用が始まる 57年 倭の奴国王が後漢より金印を授かる 倭国大乱 239年 卑弥呼が魏に使いを送る 大和政権が成立し前方後円墳がつくられ始める 		
	<ul style="list-style-type: none"> 478年 倭王武が中国の南朝に使いを送る 		
	<ul style="list-style-type: none"> 仏教が日本に伝来 593年 聖徳太子が摂政になる 646年 大化の改新 		
	<ul style="list-style-type: none"> 710年 平城京へ遷都 		
	<ul style="list-style-type: none"> 794年 平安京へ遷都 		
	<ul style="list-style-type: none"> 1016年 藤原道長摂政になる 源氏と平氏が台頭する 		
	<ul style="list-style-type: none"> 1185年 鎌倉幕府が開かれる 1338年 室町幕府が開かれる 		